

第7章 「栃木市の宝」の保存・活用に関する措置

1. 「栃木市の宝」の保存・活用に関する措置

本市における「栃木市の宝」の保存・活用に係る課題と方針を踏まえ、地域計画の計画期間に実施する措置を次のとおり設定し、将来像『「栃木市の宝」を知り、分かちあい、守り、活かすことで、人とひと、過去と今をつなぎ、未来を創る』の実現を目指します。

措置は、庁内ワーキンググループ、ワークショップ、文化財所有者へのアンケート調査結果等を踏まえ、次世代への継承を推進するにあたり、各事業を設定しています。特に重点を置いて実施すべき措置を重点事業として事業名の後ろに付しています。

措置は、行政機関・文化財所有者・市民・民間が連携して取り組みます。

財源は、市費・県費・国費（文化芸術振興費補助金・文化財補助金・地域未来交付金等）・民間助成費等を活用しながら進めます。

<事業主体の例>

行政…本市の文化財担当課(文化課)、庁内関係課、栃木県、近隣自治体 等

所有者…文化財所有者（「栃木市の宝」を所有・管理する方）

市民…栃木市内に在住・在勤する方、栃木市内外に関わらず栃木市の歴史文化に興味・関心を持っている方 等

民間…民間活動団体、各種団体、企業・研究機関 等

(1)「栃木市の宝」を知るための措置

◇ 方針1 調査・研究を推進できる体制をつくる

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
1	行政における専門職員の充実《重点事業》 「栃木市の宝」の調査・研究を進めるために、学芸員や技師などの専門職員を増員する。	新規	行政（文化課、美術・文学館課、蔵の街課）	実施									
2	「栃木市の宝」に関する調査・研究等を行う調査員の組織づくり《重点事業》 「栃木市の宝」の調査・研究を進める体制を充実させるため、専門職員と連携する調査員の組織をつくる。	新規	行政（文化課） 市民 民間		検討			実施					
3	「栃木市の宝」に関する研究機関等との連携（拡充） 大学や研究機関と連携し、調査・研究活動の充実を図る。	継続	行政（文化課） 民間	継続・拡充									

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028			後期 2029～2033							
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
4	自治体間での文化財部局の連携 近隣自治体（上三川町・下野市・壬生町・小山市）の文化財部局と定例勉強会を実施し情報交換を行い、連携して調査・研究できる体制づくりを目指す。	継続	行政（文化課）	継続										
5	歴史的風致維持向上支援法人との連携 歴史的建造物等の保存・活用に関して、法的・制度的・行政の体制的な課題等の解決に向けた、市と NPO 法人とちぎ蔵の街職人塾による定例勉強会を開催する。	継続	行政（蔵の街課） 民間	継続										
6	市民等民間による主体的な調査・研究活動への支援体制づくり 「栃木市の宝」の調査・研究を充実させるため、子ども・若者・市民全体が主体的に調査・研究活動の取組みができるように、行政が活動のきっかけづくりや場所などの支援体制を検討し進めていく。	新規	行政（文化課、 美術・文学館課、 蔵の街課）	検討 実施										

◇ 方針2 「栃木市の宝」の現況調査や詳細調査を行う

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028			後期 2029～2033							
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
7	市内遺跡調査事業 文化財保護法及び栃木県の指導に基づき、公共及び民間団体による土地開発に際し、必要に応じて埋蔵文化財包蔵地の工事立会や確認調査を行い、記録保存等を実施し、埋蔵文化財の保護を行う。	継続	行政（文化課）											
8	指定等「栃木市の宝」の現況調査事業 既指定の文化財について、文化財保護審議会委員の指導のもと現況確認の調査を行い、指定文化財の適切な保存・活用の資料とする。	新規	行政（文化課）											
9	指定等「栃木市の宝」の価値の確認 既指定の文化財について、文化財保護審議会委員の指導のもと、最新の研究成果に基づいて、以前に気付かなかった価値を確認し、指定文化財の適切な保存・活用の資料とする。	新規	行政（文化課）											
10	「栃木市の宝」の現況調査 「栃木市の宝」のうち、無形の民俗文化財・古文書・歴史的建造物の現況確認を行い、今後の保存・活用の基礎資料とする。	新規	行政（文化課） 市民 民間											

◇ 方針3 「栃木市の宝」の把握調査を行う

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
11	「栃木市の宝」の把握調査 「栃木市の宝」のうち把握が不十分な美術工芸品、大平・岩舟地域の民俗文化財、名勝地、動物・植物・地質鉱物、文化的景観などの把握調査を行い、今後の保存・活用のための基礎資料とする。	新規	行政（文化課） 市民 民間										

(2)「栃木市の宝」を分ちあうための措置

◇ 方針4 「栃木市の宝」の情報発信を充実させる

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
12	「栃木市の宝」情報発信事業（拡充） 「栃木市の宝」の紹介や「栃木市の宝」関連イベント、展覧会情報を市ホームページ・広報誌・ラジオ番組・テレビ等を活用し、「栃木市の宝」を身近に感じられる情報発信の充実を図る。将来は「栃木市の宝」に関する情報のプラットフォームをつくり、子ども・若者、市民全体が双方向で関わることができることを目指す。	継続	行政（文化課、各地域づくり推進課、渡良瀬遊水地課、観光振興課） 市民 民間										
13	「栃木市の宝」データベース整備事業（拡充） 美術館・文学館収蔵品データベースの整備と歴史民俗資料館収蔵品等のデジタル化を進め、「栃木市の宝」についてのデータベースを構築し、適切な管理を行うとともに、インターネット上での公開・活用を行う。	継続	行政（文化課、美術・文学館課）										
14	「栃木市の宝」マップ作成事業 「栃木市の宝」のマップを作成・配布し、情報発信を行う。以後は必要に応じて内容の見直しや増刷を行う。	新規	行政（文化課）										

◇ 方針5 「栃木市の宝」を知る機会を充実させる

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
15	魅力ある資料館運営の推進（拡充） 資料館で企画展の開催、関連イベント等の開催、住民による資料館の活用等の充実を図る。	継続	行政（文化課） 市民 民間										

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028					後期 2029～2033					
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
16	美術館企画展等開催事業 本市ゆかりの作家の作品等を適切に管理、保存し、企画展等により広く紹介する。また、ワークショップ、学校との連携事業等の教育普及活動を行う。	継続	行政（美術・文学館課）	継続										
17	文学館展示等開催事業 本市にゆかりのある文学者及びその作品等を適切に管理、保存し、展示等によりふるさとに対する誇りや愛着を育む。また、関連講座等の教育普及活動を行う。	継続	行政（美術・文学館課）	継続										
18	「栃木市の宝」に関する講座の開催 「栃木市の宝」をテーマとした行政主体の各種講座、教室や市民の自主的な学習活動である出前講座などを社会教育・生涯学習施設において実施する。	継続	行政（文化課、美術・文学館課、生涯学習課、地域政策課） 市民 民間	継続										
19	「栃木市の宝」展示拠点施設整備の検討《重点事業》 既存資料館の統廃合の検討を行い、「栃木市の宝」を展示等で公開・活用するために必要な機能を明確にし、今後必要とする施設を新たに整備する検討を進める。また、事業37「栃木市の宝」の収蔵庫の確保と関連付けて進めていく。	新規	行政（文化課）	検討										
20	先人の功績紹介 山本有三、小平浪平、田村律之助等、本市の先人を広く知ってもらうため、顕彰事業の共催や支援を行う。	継続	行政（文化課、美術・文学館課、総合政策課） 民間	継続										
21	栃木市文化大使、栃木市文化マイスターの活用 栃木市文化大使や栃木市文化マイスターとの連携により、「栃木市の宝」の周知を図る。	継続	行政（文化課） 市民 民間	継続										

◇ 方針6 学校教育において「栃木市の宝」を活用できる機会を増やす

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028					後期 2029～2033					
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
22	学校教育で利用しやすい資料館の展示（拡充） 学校教育で、「栃木市の宝」を児童・生徒が知り、学びに活かせるように資料館の展示を充実させる。	継続	行政（文化課）	継続・拡充										
23	学校教育で利用しやすい史跡の案内 学校教育で利用する史跡について、児童・生徒が知り、学びに活かせるように案内・解説を充実させる。	新規	行政（文化課）	検討			実施							

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
24	とちぎ未来アシストネット事業 例幣使行列、都賀地域木八幡宮に伝わる杖術指導、藤岡地域のヨシズ作り指導等、地域の学校支援活動を通して、児童・生徒の地域文化理解と伝統継承意識の育成を図る。	継続	行政（生涯学習課、各地域づくり推進課） 市民 民間	継続									

◇ 方針7 「栃木市の宝」を知る場所を充実させる

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
25	文化会館運営 市民の芸術文化の振興及び福祉の増進を図るため、指定管理により4つの文化会館を運営し、芸術文化に関する自主事業を実施する。	継続	行政（文化課） 民間	継続									
26	とちぎ山車会館管理運営事業 とちぎ山車会館を指定管理により管理運営し、歴史的に由緒ある人形山車に関する貴重な資料の収集、保管、展示をし、郷土の文化、伝統を永く後世に伝えるとともに、観光事業の振興を図る。	継続	行政（観光振興課） 民間	継続									

(3)「栃木市の宝」を守るための措置

◇ 方針8 「栃木市の宝」を守るための文化財指定等を進める

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
27	文化財指定等の推進 詳細調査の成果に基づき、文化財指定等について審議を行う。	継続	行政（文化課）	継続									

◇ 方針9 「栃木市の宝」を守るための適切な維持・修理を進める

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
28	史跡の維持管理 史跡の維持管理を適切に行い、保存・活用を行う。	継続	行政（文化課） 所有者	継続									
29	天然記念物の維持管理 天然記念物の適切な維持管理を行う。また、渡良瀬遊水地内においては、国特別天然記念物のコウノトリのための生息地環境整備等を実施する。	継続	行政（文化課、渡良瀬遊水地課） 所有者	継続									

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
30	指定等の「栃木市の宝」の適切な保存・修理 指定等の「栃木市の宝」の修理にあたり、専門家の指導のもと、所有者に対して適切な保存・活用につながるよう指導する。	継続	行政（文化課） 所有者	継続									
31	伝統的建造物群保存事業 伝統的建造物の修理、建築物の修景への補助金により所有者を支援し、歴史的町並みの形成を図る。	継続	行政（蔵の街課）	継続									
32	歴史的風致形成建造物修理・修景事業 栃木市歴史的風致維持向上計画において設定された重点区域内に所在する歴史的風致形成建造物の修理等を国の補助を活用しながら進める。	継続	行政（蔵の街課）	継続									

◇ 方針 10 「栃木市の宝」を守るための財源の確保を図る

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
33	指定等の「栃木市の宝」の各種補助事業 修理が必要となった際の所有者への修理費用の一部補助、所有者への日常的な管理に対する補助、伝承活動を支援する活動資金の一部補助等を実施する。	継続	行政（文化課）	継続									
34	「栃木市の宝」の修理等における補助制度の拡充（拡充） 「栃木市の宝」の修理等における本市の補助制度の現状は、修理に要する経費のみが対象であるため、保護や防災防犯にかかる費用についても、補助対象とする制度を検討する。	継続	行政（文化課）	継続・拡充									
35	歴史的景観保全のための助成事業 歴史的町並みに関する修景助成事業、景観重要建造物保全事業を通じて、景観的に価値のある建造物等の保全にかかる経費の一部を助成する。	継続	行政（都市計画課）	継続									
36	栃木市ふるさと文化振興基金の活用 市民文化の振興を図り、個性的な地域づくりを推進するために設置され、市民の寄付金等を積立てる栃木市ふるさと文化振興基金を有効活用する。	継続	行政（文化課）	継続									

◇ 方針 11 「栃木市の宝」の収蔵場所を確保する

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028			後期 2029～2033						
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
37	「栃木市の宝」の収蔵庫の確保 「栃木市の宝」のうち、市の収蔵品である出土遺物や各地域の歴史民俗資料について収蔵場所を確保し、適切な環境で保存・管理を行う。また、これからの把握調査で見いだされる「栃木市の宝」も視野に入れ進めていく。	新規	行政（文化課）	実施									

◇ 方針 12 「栃木市の宝」を適切に保存・管理する

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028			後期 2029～2033						
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
38	「栃木市の宝」の適切な保存・管理 「栃木市の宝」のうち市の収蔵品の整理作業・目録作成作業を行い、適切な保存・管理を行う。また、これからの把握調査で見いだされる「栃木市の宝」も視野に入れ進めていく。	継続	行政（文化課）	継続									
39	市内遺跡出土遺物保存処理 出土遺物の整理を行い、重要性の高いものを計画的に保存処理することで活用の充実を図る。	継続	行政（文化課）	継続									

◇ 方針 13 「栃木市の宝」を永く継承できる体制を整える

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028			後期 2029～2033						
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
40	文化財所有者等研修 指定等文化財の所有者等に、「栃木市の宝」に関する防犯防災対策や、財源確保のためのクラウドファンディング等の資金調達法等をテーマとした「栃木市の宝」の保存・活用に関する研修を実施する。	新規	行政（文化課） 所有者										
41	「栃木市の宝」に関するプロジェクトマネジメント組織づくり 「栃木市の宝」を継承していくために、その維持管理・保存・活用等について、所有者や地域住民が相談でき、かつ、市民・行政・専門機関とのやり取りにおける全体の管理・調整を行える組織作りを検討する。	新規	行政（文化課、 蔵の街課、各地域 づくり推進課） 市民 民間										
42	「栃木市の宝」の保存活用支援団体の指定 専門知識と地域理解を兼ね備えた団体を支援団体として指定し、所有者による「栃木市の宝」の維持管理を支援することで継承につなげる。	新規	行政（文化課、 蔵の街課、各地域 づくり推進課） 民間										

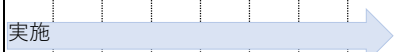
No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028			後期 2029～2033						
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
43	祭礼・民俗芸能等の記録保存事業 無形の民俗文化財に指定されている祭礼や芸能を中心に、調査及び画像や映像で記録保存を行い、将来にわたり継承できるようにする。	継続	行政（文化課） 所有者	継続									
44	ふるさと学習の充実 ふるさとの歴史文化に関する教材を使い、ふるさと学習を市内全小中学校で実施し、自分が生まれ育ったふるさとへの愛着と誇りを育む。また、ふるさと学習のさらなる教材開発に努める。	継続	行政（学校教育課）	継続									

◇ 方針14 「栃木市の宝」の防犯対策を進める

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間								
				前期 2026～2028			後期 2029～2033					
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
45	文化財パトロール事業（拡充） 県の事業で実施している文化財パトロールの 実施に加え、県事業の対象外の「栃木市の宝」 のパトロールを実施する体制をつくり、所有者 や管理者へ防犯対策のための声かけを行う。	継続	行政（文化課、県 文化振興課） 市民 民間	継続・拡充								

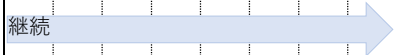
◇ 方針15 「栃木市の宝」の防災対策を行う

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間							
				前期 2026～2028			後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
46	「栃木市の宝」の防災対策の実施 栃木市地域防災計画に基づき、文化財所有者 に対し防災に関する指導・助言を行い、「栃木 市の宝」の特性に応じた防火管理や防火施設・ 設備の整備を行う。また、所有者や見学者等の 防火・防災意識の高揚を図り、嘉右衛門町伝建 地区で栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地 区防災計画に基づき実施している総合防災訓練 など、地域の防災対策を今後も進める。	継続	行政（文化課、 蔵の街課、危機管 理課） 所有者 市民 民間	継続 							
47	被災に備えた「栃木市の宝」の防災対策の実施 （拡充） 地震・火災・水害などの災害を想定し、「栃 木市の宝」である有形文化財・民俗文化財・記 念物等それぞれに必要な耐震対策・防火対策・ 水害対策を進める。対策は「国宝・重要文化財 （建造物）等の防火対策ガイドライン」、「国 宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物 館等の防火対策ガイドライン」を参考にしなが ら「栃木市地域防災計画」と併せて検討し整備 する。	継続	行政（文化課、 危機管理課、蔵の 街課） 所有者 市民 民間	継続・拡充 							

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028			後期 2029～2033						
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
48	被災時の「栃木市の宝」の救援及び復旧を行う体制づくり 栃木市国土強靱化地域計画に基づき、「栃木市の宝」が被災した場合の現状把握体制の確保、修理等に対する事務手順の整備を進めるにあたり、大規模災害時における文化財防災センターへの支援要請等の受援計画も見越して、日頃から栃木県建築士会ヘリテージマネージャーやとちぎ歴史資料ネットワークなどと連携して取り組む。	新規	行政（文化課、 危機管理課、蔵の 街課） 民間	実施 									
49	「栃木市の宝」の被災時の行動計画（タイムライン）を作る 「栃木市の宝」が被災した場合の役割とその主体を定め、災害発生直後から復旧までの行動計画を作成する。	新規	行政（文化課、 危機管理課、蔵の 街課）	実施 									

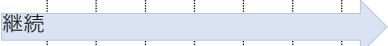
(4)「栃木市の宝」を活かすための措置

◇ 方針 16 「栃木市の宝」の新たな活用法を検討する

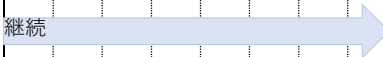
No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間											
				前期 2026～2028			後期 2029～2033								
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15				
50	指定等の建造物の活用 旧下都賀酒造組合事務所の今後の保存活用を検討する。また、山本有三ふるさと記念館、旧綿忠はきもの店舗、横山郷土館、旧栃木町役場庁舎、善野家土蔵、旧関根邸等有効に活用されている「栃木市の宝」について、今後も継続的な活用を促進する。あわせて、その周辺に所在する未活用の建造物に活用の機運が波及するよう誘導する。	継続	行政（地域政策課、観光振興課、文化課、美術・文学館課・総合政策課、商工振興課） 民間	継続 											
51	伝統的建造物群保存地区拠点施設整備事業 栃木市嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地保存活用計画に基づき、嘉右衛門町伝建地区内の味噌工場跡地をまちづくりの拠点施設とし活用する。	継続	行政（蔵の街課）	継続 											
52	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区のまちづくり 嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画を推進するため、NPO 法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会との協働により、まちづくり活動を実施する。	継続	行政（蔵の街課） 民間	継続 											

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028			後期 2029～2033							
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
53	蔵の街を活かしたまちづくり 本市に残る蔵の町並みを活かしたまちづくりを進めるため、蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議を開催する。また、蔵の街を活かしたまちづくりの調査・研究及び実践を目的として、蔵の街を活かしたまちづくり研究会を開催する。	継続	行政（蔵の街課） 民間	継続										
54	きたがわうたまる 喜多川歌麿を活かしたまちづくり 歌麿を活かしたまちづくり協議会と協働し、歌麿まつり等の事業を実施することで、歌麿と本市の関わりを活かしたまちづくりを企画・実施する。	継続	行政（蔵の街課） 民間	継続										
55	下野国庁跡リノベーション事業 専門者会議を設置し、下野国庁跡の歴史的価値に基づく保存・活用を進める。	継続	行政（文化課）	継続										
56	西方城跡保存活用計画（仮称）の作成 令和6（2024）年度に国の指定史跡となった西方城跡の長期的な保存・活用の方針を示す「西方城跡保存活用計画（仮称）」を作成する。	新規	行政（文化課）	実施										

◇ 方針17「栃木市の宝」を観光振興に活かす

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028			後期 2029～2033							
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
57	栃木市祭・イベント活動補助金 例幣使街道の振興行事の運営に要する経費、岡田記念館・塚田歴史伝説館・山車会館の共通券の印刷費用等を補助する。	継続	行政（観光振興課）	継続										
58	「栃木市の宝」を活かした各種イベントの開催 とちぎ秋まつりをはじめ「栃木市の宝」を活かした各種イベントを開催する。	継続	行政（観光振興課） 市民 民間	継続										
59	テーマ性のある周遊観光モデルルートづくり 観光資源としての「栃木市の宝」を単に結ぶルートではなく、テーマ性を持った観光モデルルートを作成し、観光客の誘致及び滞在時間の延長を図る。	継続	行政（文化課、 観光振興課、各地 域づくり推進課）	継続										
60	公共サイン整備事業 市内の「栃木市の宝」や史跡等に誘導するサインについて案内機能の向上をはかるため栃木市公共ガイドラインに基づき整備する。	継続	行政（文化課）	継続										

◇ 方針 18 「栃木市の宝」を活かすための人材を育成する

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028			後期 2029～2033						
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
61	「栃木市の宝」に関する解説ボランティア人材育成事業《重点事業》 市民や来訪者向けに、地域に残る「栃木市の宝」や歴史文化を語ることができる解説ボランティアを育成するため、講習会や現地視察等の「栃木市の宝」に関する解説ボランティア養成講座等を実施する。	継続	行政（文化課、観光振興課、各地域づくり推進課、渡良瀬遊水地課） 市民 民間	継続 									
62	「栃木市の宝」を活用する事業を行う人への支援《重点事業》 地域主体であるまちづくり協議会やまちづくり実働組織等が中心となり実施する、吹上地区のさしも草や皆川地区の皆川城跡、真名子地区の八百比丘尼尊等、「栃木市の宝」に関する事業について相談、助言等を通じて支援する。	継続	行政（文化課、地域政策課） 市民 民間	継続 									